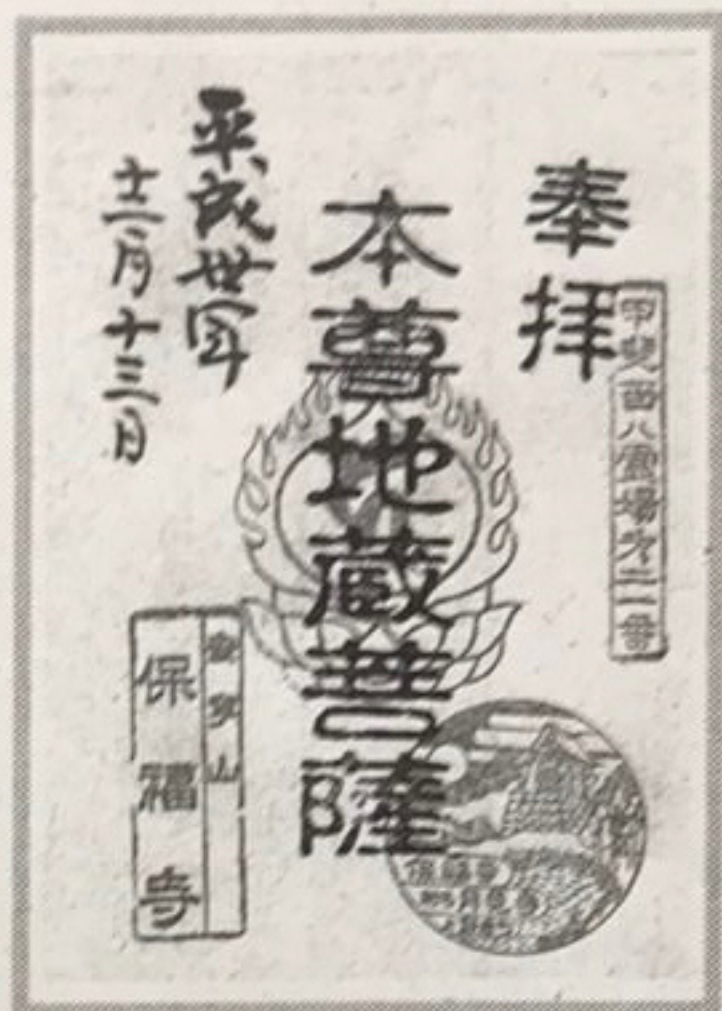


Saturday >>> やまなし

安寧山保福寺(上野原市)



小説「大菩薩峠」にも登場

御朱印めぐり

札所になっている。中里介山の時代小説「大菩薩峠無明の巻」の冒頭に登場することから、「月見寺」とも呼ばれる。

本尊は木造彩色の地藏菩薩で、本堂の須弥壇中央に安置されている。境内には

農林水産省の「ため池百選」に選定されている上野原市の名所・月見が池のほとりを歩くと、北側に山門が見えてくる。正面の本堂、右手の客殿・庫裏はいずれも堂々たる見事な建物だ。案内書によると、戦国期にこの地を治めた加藤丹後守が永禄元年(1558年)に創建。宗派は曹洞宗で、甲斐百八霊場の第二十一番



ゴールデンチーク材で建てられた本堂

本尊とは別に、露座の地藏菩薩が複数置かれていて、お地藏様のお寺といった印象だ。

山門と鐘楼は、江戸時代の建築様式の建物で、有形文化財に指定されている。本堂は、老朽化に伴って2013年に建て直されたばかり。ミャンマー政府から「釈尊の教えを伝える寺院本堂造営のためならば」との特別な配慮を受け、全て同国のゴールデンチーク材で建立することができたという。

御朱印は客殿でいだける。中央に「本尊 地藏菩薩」の文字。右下には鐘楼と満月、月見が池の印が押されている。(平山徹)

